



DomoのBI機能と分析機能の概要

新しいビジネスをデータ ドリブンで確立する



はじめに



現在、経済的環境や各種の産業分野が急激に変化しています。企業も、こうした変化に迅速に対応していくことがかつてないほどに求められています。

ビジネスにおいて、資産としてのデータの重要性はますます高くなっていますが、非常に抽象的な資産であるということも事実です。マーケティング、販売、組織管理、チーム編成、公衆衛生、市場調査、キャッシュフロー分析、在庫管理、製造など、どのようなビジネスプロセスにおいても、結果として必ずデータが生成されます。ビジネスの分野、提供する製品、提供するサービスに関係なく、すべての基幹プロセスにおいて、社内外でこれまでに行われてきた意思決定の結果として生成されたデータを基に、新たな意思決定が行われています。

こうした状況において、多くの企業がビジネスでどのようにデータを活用すべきかを検討しています。しかし、既存のプロセスやシステムでデータを活用する方法を検討してみると、すぐに以下のような問題が見つかることがあります。

- ・複数のシステムに分散しているデータをチーム内で使用できるようにするにはどうすればよいのか
- ・すべてのシステムを効率的に活用するにはどうすればよいのか
- ・ビジネスユーザーに対して、重要なデータや必要不可欠なデータをどのような方法で提示すればよいのか

各企業はこれまで約20年にわたり、デジタル技術による業務改革、各種プロセスの最適化、クラウド環境への移行、データの効率的な活用により、ビジネスの成果を改善することに取り組んできました。しかし、昨年に発生した世界的なパンデミックにより、こうしたデジタルトランスフォーメーションに対する取り組みがどうなったのかは、だれの目にも明らかでしょう。エッセンシャルワークの意義が世界的に見直され、在宅勤務がニューノーマルとして定着した現在、各企業は仕事の進め方を考え直す必要性に迫られています。データの重要性は、かつてないほど高くなっています。それに伴い、データの分散を招く「データのサイロ化」がビジネスにもたらす不利益も、かつてないほど大きくなっています。

すべての意思決定が重要な意味を持ち、スピードが重要視される現在は、既存のシステムをクラウド環境に移行するだけでは不十分であることは明らかです。アクセスしやすいシステムからデータを取得するだけでは不十分です（重要なデータが埋もれたままになっています）。スタティックなチャートとグラフをチーム内で共有するだけでは不十分です。データから得た情報をチームメンバーに渡すだけでは不十分です（メンバーは、その情報に基づいて行動を起こすための方法がわかりません）。現状を維持するために効率性の低いプロセスをそのまま使い続けるだけでは不十分です。

ビジネスクラウドシステムとしてのDomo

Domoは、データを統合する機能、リアルタイムで予測分析を行うためにデータを視覚化する機能、独自のアプリケーションを開発するための基盤を構成する機能、データを共有して必要な行動を同時に起こすための各種ツールなどを組み合わせた唯一のクラウドネイティブプラットフォームです。

Domoには、以下のようなメリットがあります。

- バックエンドデータを簡単に統合できる
- データから得た情報を全社レベルで活用できる
- ビジネスを改善するための行動を起こすことができる

バックエンドデータを簡単に統合

現在は、多くの企業がデジタル技術を導入して組織としての俊敏性を高めようとしていますが、そのための鍵となるのが、データの取り扱い方法です。データの保管方法、データの受け渡し方法、データへのアクセス方法を組織全体で統一することにより、多くの情報に基づいて迅速に意思決定を行うようになります。

Domoのデータ統合機能を使用すると、バックエンドデータの統合や、繰り返しの多いBI業務にかかる時間を短縮し、ビジネスに不可欠なプロセスに関するデータの分析と活用に時間を割くことができます。Domoを使用すれば、異なるシステムに分散しているデータにアクセスして分析を行うことができます。データの規模が非常に大きくなった場合でも（データの件数が数十億件になった場合でも）、必要なデータにすばやくアクセスすることができます。

クラウドシステム、オンプレミス環境、データウェアハウス、専用システムなど、データはさまざまな場所に保管されますが、こうした保管場所に関係なく、すべてのデータにアクセスしてクリーンアップや変換を行うことができます。これまでアクセスできなかったデータも、Domoを使用すればアクセスできるようになります。

データから得た情報を全社レベルで活用

Domoの分析機能とBIレイヤー機能により、大量のデータから最も重要な情報だけを抽出することができます。そのため、自分にとって必要な情報をすばやく確認することができます。エンタープライズグレードのセキュリティ機能と高度なデータ管理機能により、セルフサービス分析機能を会社全体で活用することができます。

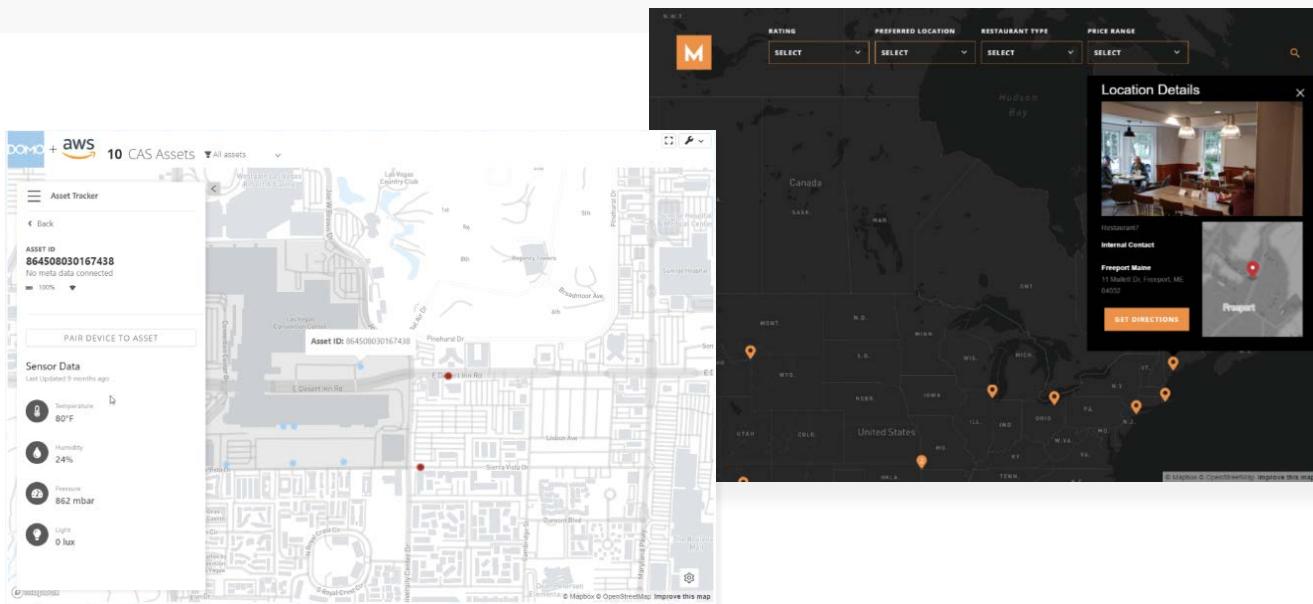
インタラクティブな可視化機能により、だれでもデータビューの作成とカスタマイズを行うことができます。このビューをチーム内で使用して、データの分析やフィルタリングを簡単に行うことができます。チームメンバーはどのような場所にいても、モバイルデバイスを使用して、その場でデータの分析やカスタムアラートの操作などを行うことができます。予測分析機能と自動化された機械学習機能を使用して、これまでの事後的なデータ分析を予測的なデータ分析へと進化させることにより、より適切な意思決定を行うことができます。

Domoの拡張分析ソリューションと組み込み分析ソリューションにより、社外でもシームレスに分析データを共有できるため、パートナーシップを強化してカスタマーエクスペリエンスを改善することができます。これにより、データに関する戦略がレベルアップします。

ビジネスを改善するための行動

Domoのインテリジェントなアプリケーションレイヤーに組み込まれているクラウド機能、データ管理機能、セキュリティ機能、配布機能を使用すると、カスタムのローコードアプリケーションを短時間で開発して、ビジネス上の課題を解決することができます。Domoプラットフォームの高度な機能を使用すれば、データアナリストやアプリケーション開発者など、すべてのユーザーがデータドリブンで高度なアプリケーションを作成することができます。

Domoを使用すれば、時間のかかるビジネスプロセスの自動化、顧客や社員からのデータ収集、注意が必要なビジネス分野のリアルタイムでの特定など、各種のニーズに合わせて独自のソリューションを開発することができます。また、変換後のデータをDomoから別のシステムに送信することもできます。これにより、Domoを使用していないユーザーも、受け取ったデータに基づいて行動を起こすことができます。



Domoのプラットフォームを使用すれば、頭に浮かんださまざまなアイデアをアプリケーションとして形にすることができます。Domoユーザーが開発したアプリケーションの一例を紹介します。

- ・ コールセンターとセールスチームのメンバーを互いに競争させて褒賞を与えることによってモチベーションを高めるためのアプリケーション
- ・ サプライヤーとベンダーに関する契約の承認と更新を行うためのアプリケーション
- ・ 請求書の間違いを検出してその場で修正するためのアプリケーション
- ・ フランチャイズの小売店の業績と社員の生産性を比較するためのアプリケーション



Domo Appstoreには、Domoユーザーをはじめとするさまざまなユーザーが作成したアプリケーションが公開されています。必要なアプリケーションが見つからない場合は、自分自身でアプリケーションを作成することもできます。Domoを使用すれば、コーディングの経験がなくても高度なアプリケーションを作成できますが、ここでは、アプリケーションを簡単に作成するための方法を紹介します。

Domoで既存のインフラストラクチャを強化

Domoに付属しているすべての機能は、高い柔軟性を確保することを最優先として設計されています。Domoは、データストレージ、ETL、各種BIツールなどの既存のシステムに対して、プラグアンドプレイ方式で機能するように設計されているため、これらのシステムを最大限に活用することができます。

以下に、こうしたシステムの一例と、これらのシステムでDomoがどのように機能するかについて説明します。

データウェアハウス



Domoはコスト効率の高いストレージがありますが、既にストレージをホストしている場所からフェデレーテッドクエリを使用して、直接データを照会することもできます。Domoのクエリを既存のデータベース言語に変換し、Domoからデータを利用できるようにします。

データ変換ツール



データのクレンジング、集計、結合をサポートするため、ETL機能が備わっています。また、既にお使いのETLツールとのシームレスな統合も可能です。お使いのETLツールとDomoを連携することによって、データソースの接続、データの可視化、データのコラボレーション、予測インサイトの取得が可能になります。

データパイプラインツール



データパイプラインツールは、データ移動およびシステム間におけるデータ変換を支援します。総合的なツールを使用してシステム間やアプリケーション間のデータ移動を自動化している場合は、Domoと連携させることで、データを可視化してインサイトを取得できます。

BIツール



可視化ツールを既にお使いの場合は、そのまま利用することも可能です。データの接続、変換、クエリを実行するDomoの優れた機能は、既存のツールを使用してデータを可視化していても、お使いのアーキテクチャをより堅牢なものにします。



インフラストラクチャの調整と展開ツール

効率性はインフラストラクチャの設定と管理が容易かどうかで決まります。Domoは、システムやアプリケーションの構成、調整、管理を効率化するためのツールがプラグインされています。インフラに変更を加えても、Domoとのデータ連携を心配する必要はありません。



ビッグデータ分析プラットフォーム

多くの企業は既にビッグデータプラットフォームに投資をし、データの保存、正規化、クエリを実行しています。既にこのような投資を行っている企業は、これらのシステムにDomoのデータ可視化ツールを追加することで、データを可視化し、AIを使った新しいインサイトを取得できます。



API管理ツール

多くの企業は各種ツールを実装して、デジタルプラットフォーム向けのAPIを保護、管理しています。DomoはあらゆるAPI管理ツールと連携します。



データを簡単に使いこなす機能



データで最も重要なものはコンテキスト

急いでデータを準備する必要がある場合、チャートやグラフの「見た目」を気にしている余裕はありません。しかし、コンテキストに基づいてデータの内容を正しく理解するためには、チャートやグラフの外観をわかりやすいものにする必要があります。また、さまざまな情報に基づいて意思決定を行うには、それらの情報からKPIを抽出して自由に共有するための方法が必要になります。

Domoのメリット

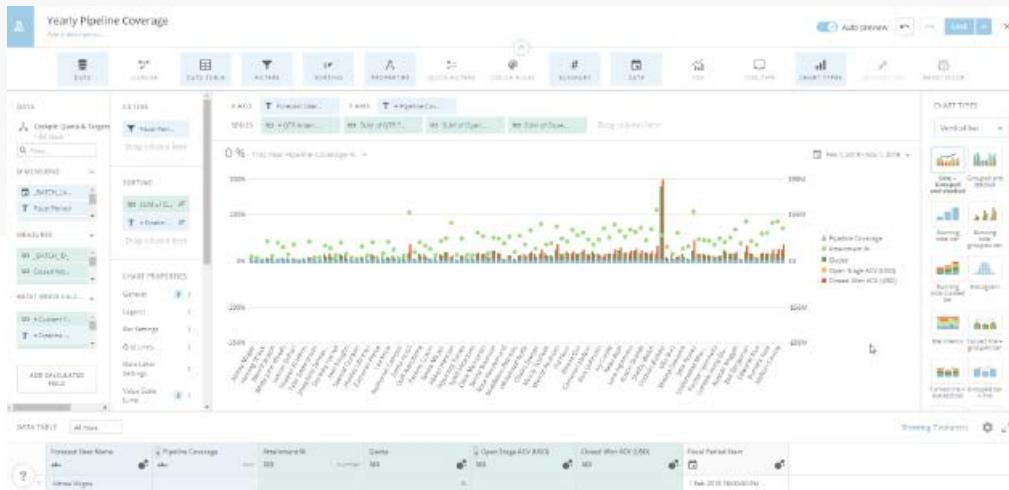
Domoを使用してデータの表示を統一することにより、簡単にデータを分析することができます。また、インタラクティブな可視化データを作成し、ビジネスについて詳しく調べることができます。Domoのコラボレーション機能を使用すると、分析データをチーム間で簡単に共有し、データに基づいた話し合いを行い、その結果に従って各メンバーにタスクを割り当てることができます。これにより、データに基づいて行動を起こすことができるようになります。Domoアラートを使用すれば、ビジネスの変化に迅速に対応し、すばやく意思決定を行うことができます。

このセクションでは、Domoを使用して以下の処理を行う方法について説明します。

- 未加工のデータをわずか数分間で可視化する
- カスタマイズされたデータストリーを作成する
- アラートを使用して例外管理を行う
- 緊密なコラボレーションにより、適切な行動を取る

未加工のデータをわずか数分間で可視化する

ビジネスにとってデータは必要不可欠なものです。しかし、ビジネスに関わるすべてのユーザーがデータに詳しいわけではありません。Domoを使用してすべてのデータをまとめることにより、チャート、グラフ、インタラクティブなマップなど、さまざまな形式でデータを可視化することができます。これにより、データの内容を簡単に理解できるため、すべてのメンバーがさまざまなデータに基づいて意思決定を行うようになります。



直感的なインターフェース



Domoには、Analyzerというツールが付属しています。これは、データを可視化するためのセルフサービス型データ分析ツールです。データをドラッグアンドドロップするだけで、データの可視化、データセット列の選択、フィルターの適用、チャートプロパティの設定、チャートの外観の編集などを行うことができます。いずれの操作についても、IT部門のサポートを受ける必要はありません。

さまざまなチャートが用意されているライブラリ



データを可視化する場合は、チャートを使用すると便利です。Analyzerには、時系列チャート、予測チャート、複数次元のトレリスチャートなど、150種類を超えるチャートが用意されています。また、7,000件を超えるカスタムマップも付属しています。

必要なデータをすばやく検索して表示



インタラクティブなページレベルのフィルタリング機能とともに、レポートレベルで無制限にドリルダウンを行うことができる各種のフィルターを使用することにより、分析のベースとなるデータを表示し、そのデータの全体像を把握することができます。これらのフィルターは、事前に定義されています。これらのフィルターを使用してセルフガイド式のエクスペリエンスを作成することにより、自分自身でデータを検索して必要な情報を取得できるようになります。Domoには、文字列、値、日付という3つのデータタイプがありますが、すべてのデータタイプでフィルターを追加することができます。また、グラフ内のデータポイントに日付の注釈を追加して、グラフの内容をわかりやすくすることもできます。





チャートの自動更新

新しいデータソースを追加すると、チャートが自動的に更新されるため、エンドユーザーの混乱を招くことはありません。また、バックエンドシステムが変更されたことを意識する必要もありません。



作成済みアプリケーションを使用した迅速なデータへのアクセス

Domo Appstoreに公開されている作成済みアプリケーションを使用すると、ビジネスデータにすばやくアクセスし、そのデータに最も適した定義済みの形式で可視化することができます。Domoのアプリケーションは、Facebook、Salesforce、Hubspot、Adobeなど、広く使用されている各種のビジネスシステムに対応しています。アプリケーションをインストールして認証情報を入力し、データを読み込むだけで、アプリケーションを使用することができます。プログラミングを行う必要は一切ありません。アプリケーションを起動すると、付属の作成済みテンプレートにデータが取り込まれます。このテンプレートは、必要に応じてカスタマイズすることができます。[Appstoreの詳細。](#)

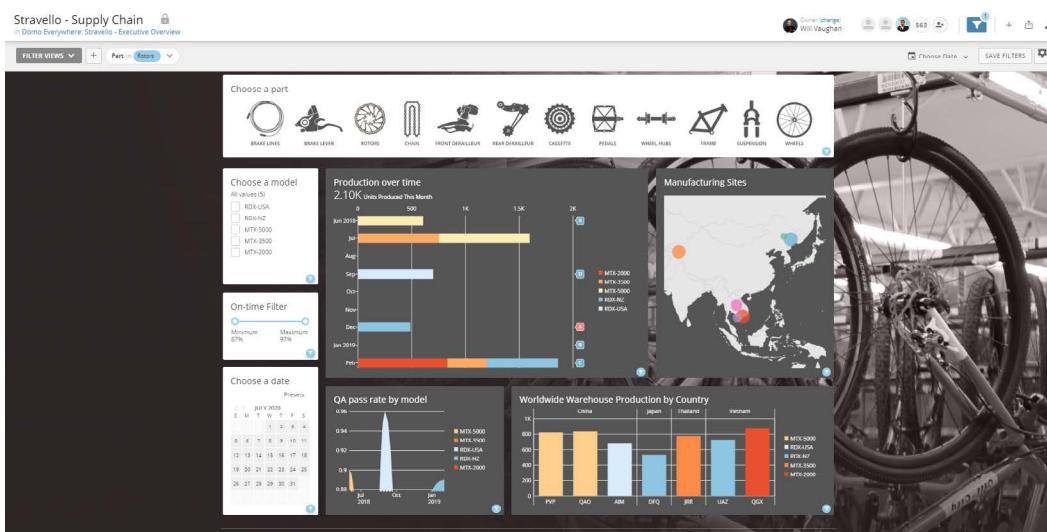
以下の項目についての詳細。

- [Analyzerを使用してカードを作成する](#)
- [さまざまなQuickStartアプリを確認する](#)
- [各種のチャートを作成する](#)
- [チャートフィルターの追加と編集を行う](#)



精選したデータストリーを作成する

Domo Storiesを使用して、画像やテキストを組み込み、データをストリー仕立てにして、意図したとおりにデータが理解されるようにできます。Domoに搭載された機能を使用して、すぐにストリーの作成を開始することができます。コーディングを行う必要は一切ありません。特別に設計されたストリーのレイアウトにより、表示方法（ウェブサイト、モバイルデバイス、メール、タブレット、印刷、スケジュールレポート）に関係なく、一貫した形式でストリーを表示することができます。



レイアウトのカスタマイズ

簡単なドラッグアンドドロップ操作で、高度な可視化データの作成、カスタマイズ、ブランディングを行うことができます。コードを記述する必要は一切ありません。各種の用途に応じて作成された数百におよぶレイアウトテンプレートにより、データの内容を理解して適切な行動を取ることができます。



ストーリーのプランディング

簡単なドラッグアンドドロップ操作で、可視化ビューのサイズを変更したり、可視化データの表示順を変更したりすることにより、特定のKPIをわかりやすく表示することができます。また、ダッシュボードとチャートの色を変更したり、会社のプランディングに合わせてダッシュボードの背景色を追加したりすることができます。



インタラクティブなデータを作成

柔軟性の高いフィルター機能を使用してインタラクティブなデータを作成することにより、データを簡単に分析できるようになります。Domo内の別のダッシュボードや外部のウェブサイトにデータをリンクして、さらに多くの情報を分析することもできます。ダッシュボードで直接ドリルダウンして、詳細情報を確認することができます。

以下の項目についての詳細。

- [Domo Stories](#)の詳細
- [カード詳細ビューのレイアウト](#)に関するオプション

「Domoを使用すれば、複雑なデータをわかりやすいグラフィックとして可視化できるため、全社レベルでデータを効率的に活用できるようになりました。

現在は、データから抽出した重要なKPIを、複数のプラットフォームで活用しています」



NATIONAL
GEOGRAPHIC

シニアバイスプレジデント
コンシューマーアナリティクス&インサイト部門

アラートを使用して例外管理を行う

常にDomoを使用して積極的にデータを活用している社員であっても、ときには休憩が必要になります。ただし、休憩中であっても最新情報を確認するための仕組みは必要です。Domoアラートを使用すれば、KPIの変化をリアルタイムに確認することができます。



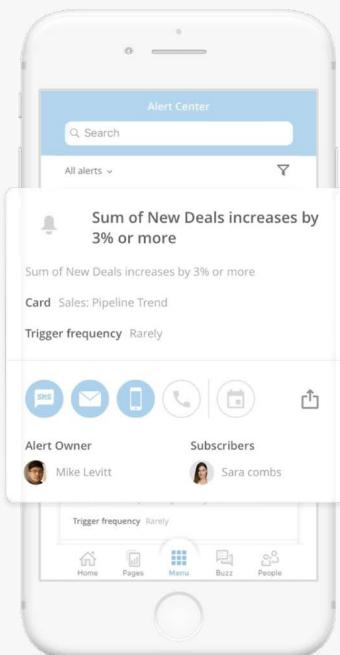
任意の形式でアラートを表示

アラートが発生した場合、自分の業務に適した形式で通知を受け取ることができます。アラートの送信方法として、メール、テキストメッセージ、Domoのデスクトップアプリケーション、Domoのモバイルアプリケーションを使用することができます（電話で送信することもできます）。



条件の設定

すべてのチームメンバーが、すべてのKPIの変化について知る必要はありません。各チームメンバーは、定義済みのしきい値を使用してカスタムのアラートを作成することにより、そのアラートに関する変化が発生した場合にのみ、通知を受け取ることができます。アラートのトリガ、通知の頻度、通知メッセージ、通知の受信者をカスタマイズすることができます。また、アラートがトリガされたときに自動的に実行されるアクションをカスタマイズすることもできます。





アラートの追跡と管理

アラートセンターで、すべてのアラートを管理することができます。具体的には、アラートのサブスクライブ、アラートのサブスクライブの解除、アラートの編集、アラートの削除、アラートの履歴の表示、アラートのトリガ頻度の確認を行うことができます。



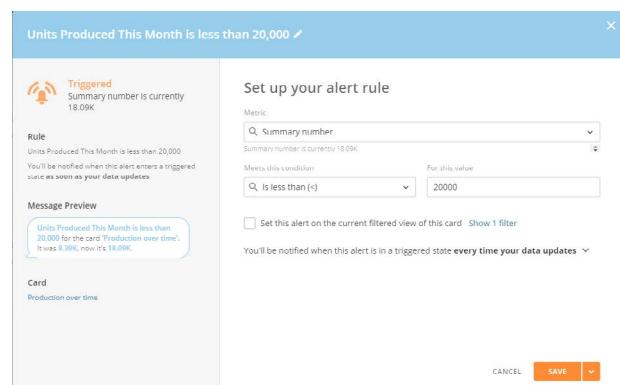
トレンドの把握

アラートセンターの[ディスカバー]タブで、組織内のトレンドトピックを分単位で表示することができます。これにより、チーム内で関心が高いメトリクス、発生頻度が高いアラート、新しく作成されたカード、最近話題に上ったカードとページ、使用頻度の高いカード、進行中の会話などを確認することができます。



アクションの自動実行

DomoのBusiness Automation Engine (BAE) は、機械学習機能を使用してイベントベースの高度なワークフローを統合するオーケストレーションレイヤーです。これにより、アクションを実行するまでの時間を短縮することができます。BAEを使用すると、アラートがトリガされたときに自動的に実行されるアクションを別のシステム内に作成することができます。たとえば、在庫数が少なくなっていることを知らせるアラートがトリガされた場合に、在庫システム内で自動的に注文処理を実行することができます。



以下の項目について確認してください。

- 通知とアラートの設定方法
- アラートの管理方法

緊密なコラボレーションにより、適切な行動を取る

Domoには、Buzzという高度なチャット機能が組み込まれています。Buzzを使用すると、簡単にコラボレーションを行うことができます。

また、開発作業に関する最新情報を確認し、データに基づいて迅速に行動を起こすことができます。



データについて話し合う

Buzzを使用すると、Domoでデータを表示しながらチーム内でチャットすることができます。チャット中に、特定のデータを直接Domo内に取り込むことができます。BuzzでのチャットはすべてDomo内で実行されるため、通常のビジネス用チャットアプリケーションを使用する場合と比べて、コンテキストに基づいてより迅速にコラボレーションを行うことができます。チャット中にデータを共有したり、各種のファイルを添付したり、メッセージをベースにTo Doリストを作成したりできるため、迅速にコラボレーションを進めることができます。





最新情報の確認

テキストメッセージアラートとDomoアプリ通知を使用して、スマートフォン、タブレット、デスクトップコンピューターで最新情報を自動的に受け取ることができます。アラートの詳細を確認してください。



アクションの実行

組み込みの「プロジェクトとタスク」モジュールにより、タスクの計画、割り当て、追跡をDomo内で行うことができます。プロジェクトは、メンバーやチームに対して、パブリックプロジェクトにすることも、プライベートプロジェクトにすることもできます。各メンバーは、Domoに表示されるデータに基づいて、適切な行動を取ることができます。各タスクにはBuzzでのチャット内容が添付されるため、チーム内でコラボレーションを行うことができます。



全員とシェア

Buzzを使用すると、特定のデータに関する会話に他のメンバーを簡単に追加することができます。組み込みのプロフィールと組織図により、他のメンバーの役割を確認できるため、どのメンバーをチャットに招待すればいいのかを簡単に判断することができます。

以下の項目について確認してください。

- [Buzzの詳細](#)
- [Buzzにボットを追加する方法](#)
- [プロジェクトとタスクの作成方法](#)
- [組織図の使用方法](#)

業務に関する問題が発生した場合に備えて、問題が発生したことを自動的に知らせるための機能が必要になります。当社では、社内のさまざまなデータポイントを網羅する形でアラートを設定しています。たとえば、当社では粗利のしきい値を設定しているのですが、粗利がこのしきい値を下回ると、すぐにアラートが発生する仕組みになっています



JEREMY ANDRUS氏 | CEO

Domoを導入して真のデータドリブンビジネスを実現

Domoを導入すれば、複雑なビジネスプロセスに関するデータを統合して簡単にアクセスできるようになります。これにより、既存のシステムを効率的に活用することができます。

Domoを活用して、以下の項目を実現することができます：

- ・ バックエンドデータの統合を簡素化する
- ・ データから得た情報を全社レベルで活用する
- ・ ビジネスを改善するための適切な行動を取る

Domoの導入をご検討ください

当社の担当者より、お客様に最適なソリューションを提案し、長期にわたってお客様をサポートいたします。

Domo 無償トライアル：<https://www.domo.com/jp/start/free>

お問い合わせ先：info-jp@domo.com

ドーモ株式会社 www.domo.com/jp

